

令和7年度経営発達支援計画実施評価表（高山西商工会）

評価委員会実施日 令和8年4月27日

区分	項目	項目	評価委員1	評価委員2	評価委員3	評価委員4	評価委員5	コメント
経営発達支援事業の内容	3. 地域の経済動向調査に関する事	①関係機関による経済動向尾調査、②管内景気動向調査、③会員実態調査から得た情報を整理・分析し、レポートにまとめ情報提供を行う	B	B	A	A	A	
	4. 需要動向調査に関する事	個々の事業者の商品・製品・サービスについて、主要ターゲットに対して需要動向調査を行い、調査結果を事業者に提供する。	B	B	C	B	B	・フィードバックは重要かと思しますので令和8年度実施をお願いします。 ・フィードバックをしっかりとってください。
	5. 経営状況の分析に関する事	経営分析の必要性と重要性を説明し、事業者が腹落ちしたうえで、定量・定性両面で経営分析を行い、結果をフィードバックする。	A	B	A	A	A	・著しく物価高騰が進む中、価格転嫁をうまくしていくことが重要なので、高齢な事業などサポートをお願いします。
	6. 事業計画策定支援に関する事	事業計画策定の推奨並びに策定支援を実施し、小規模事業者の持続的発展に向けた実現性の高い計画を策定する。	A	C	A	A	A	・支援計画の策定は有効であり、引き続き強化をお願いします。
	7. 事業計画策定後の実施支援に関する事	策定した計画を着実に遂行するために巡回指導等による定期的なフォローアップを実施する。	A	C	A	A	A	・フォローアップを引き続き充実していけると良いと思います。
	8. 新たな需要の開拓に	SNS等のIT活用やアナログ手法の広告宣伝に加え、展示会・商談会等への出展支援を通じて、小規模事業者の販路開拓を実現する。	B	B	A	B	B	・このテーマに当てはまるか分かりませんが、小さな規模からでも大野町商工会のように会員発表会のような催しがあると良いですね。会員さんは同じ会員さん同士から刺激を受けると思います。 ・PR事業の変更が必要 ・SNSで発信する事業者のフォローを続けて頂くとより良いと思います。 ・DX補助金の活用をさらに広めて頂くようお願いします。
経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組	9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	外部有識者、商工尾振興課長及び担当職員、商工会役員および法定経営指導員等で構成する評価委員会を年に1回開催し、経営発達支援事業の進捗状況等について評価を行い、次年度への改善対応をはかる。	A	A	A	B	A	・自走化に向けた指導の実現を期待しています。 ・改善点の説明もありよかったです。 ・時間的制約はあると思いますが、可能であれば指導員の二人がどんな支援をしたか、支援事例をプレゼンしても良いと思います。
	10. 経営指導員等の資質向上等に関する事	①外部講習会等の積極的活用 ②OJT制度の導入 ③OFF-JTによる知識の習得及び支援スキルの向上 ④職員勉強会の開催	A	A	A	B	B	・二人の指導員で仕事配分を考えてください。 ・評価基準に当てはめると厳しい評価になりますが、出来ることはやっていると良いと思います。 ・引き続き情報共有をお願いします。 ・指導員の資質向上は地域のために役立つと思いますので引き続きお願いします。

評価基準

A: 目標を達成することができた(100%以上)

B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)

C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)